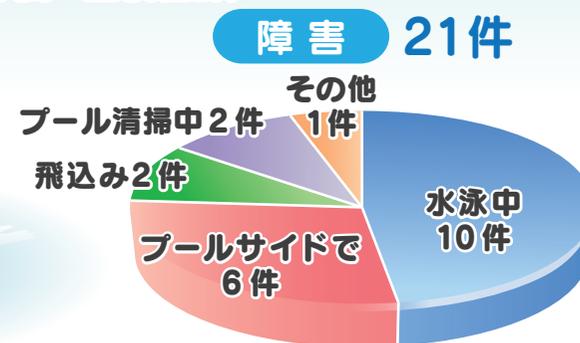
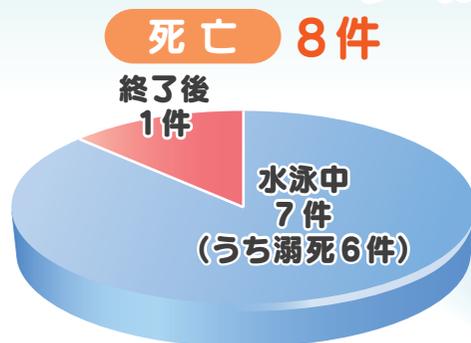


プールでの事故に気をつけよう!

プールでの重大事故発生件数（平成17～25年度・全校種計）



水泳中の事故が多く、水泳は危険を伴う運動であることを認識させましょう。

健康状態の把握

学級担任・体育担当・養護教諭による保健情報の活用、家庭連絡および健康観察で、児童の健康状態を把握します。

プールサイドでの過ごし方

ふざけたり、プールサイドで走ったりすると、人や物にぶつかったり、転倒したりと、けがをする可能性が高くなります。水泳指導中だけでなく、プールサイドでの行動の仕方についても注意が必要です。

施設・設備の安全管理

排水口の蓋等、プール本体や附属設備を定期的に点検し、破損箇所等は早急に修理しましょう。プールサイドなどがコケ等で滑りやすくないように清掃するとともに、障害物や突起物を取り除いておきます。
※近年、排水口に吸い込まれるような重大事故は、学校の管理下では発生していませんが、学校外でのプールの利用についても注意喚起が必要です。

水の中で、体調が急変することがあります。水泳中の様子を注意深く監視しましょう。

プール事故発生事例

学年・性別	負傷(障害)の種類	事故発生時の状況
小1・女子	下顎裂傷 (外貌・露出部分の醜状障害)	水泳指導が終わった後、バスタオルを首からかけ、両手が出ない状態でプールサイドを走り、転倒した。
小2・男子	刺創	プール指導中、プールの中を歩いていて、プール底の排水口を止めるふたのネジの頭がさびて欠けており、それを踏んで足の裏を切った。

